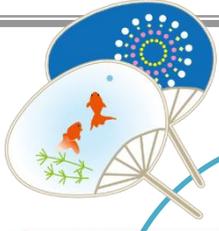


みと 美都



御津南部小学校
校長室だより
令和5年8月17日
No.16

雨の後の虹 8月8日朝（上佐脇より）



夏休み 残りあと2週間



7月20日（木）、1学期の終業式が行われました。

終業式では、2年の小笠原 櫻さん、4年の久保 彩音さん、6年の小林 楓果さんの3人が1学期を振り返って頑張ったことを発表してくれました。

櫻さんは、運動会のリレーと漢字の学習をがんばった話をしました。リレーでは友だちが応援してくれたおかげで力を出し切ることができて、それが今でも思い出してしまうくらいうれしくなるそうです。そして漢字の学習では、とめやはらいなどの細かなところまで気をつけて練習を続けたら、きれいに書けるようになり、お母さんにほめられてうれしい気持ちになったようです。

彩音さんの発表は、苦手なことを克服しようと努力したお話でした。給食で苦手な食べ物があり、一口は絶対食べようという目標をもって挑戦したそうです。また、社会科の勉強では、どこに何があるのか、普段の生活の中でも意識して頭に入れているようです。そして、これからの目標として、4年生のけやき学習で取り組んでいる「防災」について、気になったことをもっと調べて、色々な人に教えたいと話しました。

楓果さんは、チームワークで行動することの大切さを学んだことを話しました。6年生は1学期のけやき学習で「働くということ」について考えました。実際に働いている人たちや講師の方々のお話を聞き、テーマについて考えをまとめました。その時に、講師の方に質問をしたり、チームで意見交流をしたり、プレゼンをつくったりなどして、仲間の考えを聞いて自分の考えを広げたり、仲間と協力し合ってプレゼンをつくったりなど、チームで学習を進めることの楽しさを学ぶことができたと言っていました。

3人とも堂々とした素晴らしい発表でした。暑い中の式でしたが、全員が最後まで、しっかりと話を聞くことができました。



子どもたちが元気に参加しました



サマースクール&プール開放



夏休みに入ってすぐの、7月25日(火)~28日(金)の4日間、サマースクール(3年生以上)とプール開放を合わせて実施しました。梅雨明け直後の暑い中でしたが、多くの子どもたちが元気に参加しました。

今年のサマースクールは、例年の自主学習に加えて、習字、裁縫、リコーダー、ポスター制作の教室を開催しました。子どもたちは、自分で目標をもって、一生懸命に取り組んでいました。自主学習には、大学生のお姉さんも、お手伝いに来てくださいました。夏休みのはじめに、こうした機会に参加することは、長い夏休みをだらだら過ごさないための学習習慣をつくるためにも意味があると考えます。



また、プール開放では、子どもたちの歓声と笑顔があふれ、とてもうれしそうでした。特に、自由遊泳の時間は笑顔がはじけみんな楽しそうでした。子どもたちがプールを楽しみにしていることがあらためて分かりました。4日間で、のべ300人を超える子どもたちが参加しました。保護者の方々には、暑い中、プール監視や水撒き、カード管理、着替え等にご協力いただき、ありがとうございました。



この夏休みサマースクールとプール開放については、熱中症対策をはじめいくつかの課題はありますが、より安全で、よりよい方法を探っていきたいと考えます。

夏休みが始まって、あっという間に1か月が過ぎました。どんな夏休みを過ごしていますか。

「チャレンジ」する夏休み、「じまん」ができる夏休みにはできないでしょうか。まだまだ夏休みは10日以上あります。今日から「やってみよう」「続けてみよう」「やり遂げてみよう」と計画を立てれば、いろんなことができます。

次にみんなが学校に来るのは、9月1日です。皆さんに元気な顔で会えること楽しみにしています。とくに交通事故や熱中症には要注意、「自分の命は自分で守る」のですよ。